

<自己評価1回目> ※黄色のセルをすべて記入してください。

項番	1	総事業 項目数	1
----	---	------------	---

整理番号	2025M-	102	補助事業者名	社会福祉法人 上川会	事業項目名	特殊浴槽の整備
------	--------	-----	--------	------------	-------	---------

## 別紙 JKA補助事業 2025年度 事前計画／自己評価書(4/5)

### 5. 補助事業の自己評価

作成日	2025	年	11	月	21	日	作成者	都丸 悠子
-----	------	---	----	---	----	---	-----	-------

#### (a) 個別項目評価

●個別の評価項目について、事前計画／自己評価書(3/5①②) 4. 事前計画 に対する達成状況等を把握し、分析・評価してください。					採点
(1) 受益者 (ニーズ)	2回目の自己評価時に評価してください。(評価様式は別用紙になります。)				
(2) 事業内容	設置後15年が経過し交換時期に差し掛かった特殊浴槽を、新しい同機種へ入れ替えることにより、ご利用者様により安全で快適な入浴サービスを提供する。				
	事業の新規性または継続の必要性	2回目の自己評価時に評価してください。(評価様式は別用紙になります。)			採点
	事業の発展性	2回目の自己評価時に評価してください。(評価様式は別用紙になります。)			採点
	実施計画・体制	各担当者により事業は順調に遂行することが出来た、新しい浴槽の設置後も現場担当者を中心に順調に運用出来ている。			4
(3) 達成目標	事業の実施結果	[達成値]	[達成状況]	[具体的内容]	採点
		2025年8月	90%	当初は8月の導入を予定していたが、9月の導入となった。浴槽の入れ替え工事自体は1日で完了したため、ご利用者様への影響は最小限に留める事が出来たと思う。	4
	事業の成果・波及	[達成値]	[達成状況]	[具体的内容]	採点
		利用件数450件(月)	80%	一日あたり 12名の使用。月に換算すると 360件の利用件数となった。	3
(4) 情報発信	事業の実施結果	[達成値]	[達成状況]	[具体的内容]	採点
		1 機関紙による 2 ホームページ記載による	1 100% 2 100%	1 機関紙→利用者様のご家族様宛に郵送を行う。 2 ホームページへの記載→掲載依頼を委託し、掲載済。	3
	競輪・オートレース補助金による事業であること	[達成値]	[達成状況]	[具体的内容]	採点
		1 機関紙による 2 ホームページ記載による	1 100% 2 100%	1 機関紙→利用者様のご家族様宛に郵送を行う。 2 ホームページへの記載→掲載依頼を委託し、掲載済。	3
(5) 自己評価の体制	各担当者が集まり、自己評価を実施した。評価結果についてはホームページにて公開。				3

#### (b) 総合評価

総合 評価点	4
-----------	---

●(a) 個別項目の評価から実施状況等を振り返り、事業全体を評価してください。	
(1) 事前計画(2/5)記載の「補助事業の直接的な目的」を踏まえた、事業全体についての意見・所感	これまで使用していた特殊浴槽は設置後15年が経過して交換時期に差し掛かり、故障しても修理が難しい状況であったため、今回補助金の制度を利用して、早期に浴槽の交換が行うことが出来、ご利用者様により安全で快適な入浴サービスを提供することができて良かったと思う。
(2) 優れている点・課題、改善すべき点	入れ替えの工事が1日で完了した点や、同機種へ入れ替えることにより、入れ替えた後の運用がスムーズに行われた点は優れていると思われる。
(3) その他、アピールしたい点、是非知ってもらいたい点	施設の設備を新しくした事についてご家族様へ知っていただくことが出来、施設のアピールになったのではないかと考えられる。

【福祉機器・医療機器】

整理番号	2025M-	102	補助事業者名	社会福祉法人 上川会	事業項目名	特殊浴槽の整備
------	--------	-----	--------	------------	-------	---------

## 別紙 JKA補助事業 2025年度 事前計画／自己評価書(5/5)

### (c) 事業の促進・阻害要因の自己分析

- 事業の目標達成を促進した、あるいは阻害した要因について、「要因分類」(1)～(15)の「促進」または「阻害」欄に「\*」を記し、要因の内容を a 欄に、阻害要因への対応あるいは今後この分析結果をどう活かすかを b 欄に、それぞれの要因分類の番号(1)～(15)を付して、具体的にご記入ください。
- 促進または阻害要因が無い場合には、(16) の欄に「\*」を記してください。

事業の促進・阻害要因の自己分析					
	促進	阻害	要因分類	a. 促進または阻害要因の具体的な内容	b. 対応、今後この分析結果をどう活かすか。
内部 要因			(1) 経費		
			(2) 実施体制 (人員、関係機関 の協力等の確保)		
			(3) 資材調達 (事業実施に必要な 物資等の確保)		
			(4) 実施期間 (事業終了までに 要する期間)		
			(5) 事業運営のノウ ハウ(進捗管理、 資金管理等)		
			(6) 設計仕様の変 更(主に建築)		
			(7) その他		
外部 要因			(8) 受益者の 規模・ニーズ		
			(9) 実施体制以外 の団体等の協 力・支援		
			(10) 関連法制度 の変更		
			(11) 利害関係者 (受益者以外)の 要望への対応		
			(12) 災害の発生 (地震、洪水等)		
			(13) 同様の技術 開発		
			(14) 競合するサー ビス・事業の出現		
			(15) その他		
	*		(16) 特になし		